

さいたま市長10月定例記者会見

平成26年10月2日（木曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。  
それでは、記者クラブ幹事社の読売新聞社さん、進行をよろしく願い  
いたします。

○ 読売新聞 読売新聞社と申します。幹事社を務めさせていただきます。よろしくお  
願いいたします。

きょうの発表事項、市長のほうから説明をお願いいたします。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。

皆さんご承知のとおり、先週27日の土曜日に長野、岐阜県境にある御  
嶽山が昭和54年以来、35年ぶりに噴火をいたしました。紅葉シーズ  
ンの週末ということもあり、多くの方が登山をされているさなかの噴火とな  
り、多数の死傷者が出た上、救出作業が困難をきわめ、いまだ身元確認も  
できない方もいらっしゃるという聞いております。

ニュース映像で美しい紅葉と澄んだ青空があつという間に火山灰に覆わ  
れた白黒の世界が変わるところを見て、火山災害の恐ろしさを身にしみて  
感じております。

幸い埼玉県には、いわゆる噴火警戒レベルを導入した火山はございませ  
んが、平成21年、浅間山の噴火では関東にも降灰被害が及んでおり、決  
して他人事ではありません。最近の異常気象による自然災害も頻発して  
おり、自治体に求められる災害対策の必要性は多岐にわたり、どんどん高ま  
っております。市でできることはもちろん対応してまいります。市民の  
皆様も何より日ごろの備えが大切でありますので、家族で普段から防災の  
備えについて話し合っていたいただきたいと思います。またあわせまし  
て、被災をされた皆様方に心からご冥福を申し上げたいと思います。

**市長発表：議題「2014 ツール・ド・フランスさいたま  
クリテリウム presented by ベルーナ」を開催します**

それでは、本日の議題に入らせていただきます。

今年で2回目を迎えます「2014ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」の開催概要について説明をさせていただきます。

大会の名称を、昨年は「さいたまクリテリウム by ツールドフランス」という名前でありましたが、今年は「2014ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム presented by ベルーナ」とになりまして、装いも新たに開催させていただきます。

いよいよ今月25日の土曜日に10時から17時まで開催をさせていただきます。場所は、さいたま新都心駅周辺でございます。

今年の大会は、テレビ東京系列、全6局ネットで地上波全国放送、またジェイスポーツ及びジェイコムでの生放送も予定されております。テレビ埼玉やFM・NACK5での事前告知も実施をしております。会場の熱気と興奮を全国で見ることができるほか、ASOの持つネットワークを通じて世界100カ国以上へ発信されるものでございます。

レースの内容につきましては、まず半数ずつに分かれまして、2つのポイントレース、これは8周ずつということになりますけれども、これを午後1時から行うほか、全選手出場によるメインレース、20周を午後3時から行う予定となっております。

そのほか、記載のとおり、一般体験走行、ステージイベント、パブリックビューイング、海外選手との交流会など盛りだくさんの内容となっております。

大会の開催に当たりましては、プレゼンティングスポンサーのベルーナ様をはじめとして多くの企業の皆様にご協賛をいただきました。

また、記載の協賛社のほかにも、オフィシャルサポーターをはじめ広報PR、大会運営協力など、多くの企業、団体の皆様に様々な場面でご協力をいただいております。この場を借りて改めて感謝を申し上げたいと思います。

次に、出場選手についてであります。先の9月25日の発表会見にもありましたとおり、今年も昨年以上に一流選手が顔をそろえまして、来日をされることとなっております。

まず、昨年の本大会で優勝いたしまして、第1回目のさいたまクリテリウムの優勝者でもありますクリストファー・フルーム選手、それから今年

度の本大会での総合優勝を飾りましたビンチェンツォ・ニーバリ選手をはじめとして同総合2位のジャンクリストフ・ペロー選手、それから昨年引き続き来日する、本大会でポイント賞を受賞しておりますピーテル・サガン選手など、大変豪華な顔ぶれとなっております。

日本人初のツール・ド・フランス完走者の別府史之選手も海外招聘選手として参加をしてくれることになっております。

新城幸也選手につきましても現在ASOから働きかけておりますので、出場いただけるものと期待をしているところであります。

ASOのプロジェクトマネージャーのティボー・クドゥリウによりますと、昨年参加をした選手たちからはとても好評でありまして、また日本に行きたいとの希望も多く、またそれらの選手から話を聞いた他の選手も日本行きを熱望していると伺っております。さいたまクリテリウムの出場がツール・ド・フランス本大会のモチベーションにもなっていると聞いております。

また、国内選手でございますが、先日記者会見にも参加をいただきました、埼玉大学出身、現在日本チャンピオンであります佐野淳哉選手、それからさきに行われました仁川でのアジア大会優勝者であります橋本英也選手、それから畑中選手など、多くの上位のスーパースターたちがさいたま新都心に一堂に会する、まさに夢のサイクリングイベントとなっております。

サイクリングファンはもとより、一般の方、自転車競技にあまり詳しくない方にも是非、本物の走りを目の前で感じていただければと思っております。

続きまして、会場のコースにつきましてですけれども、昨年よりも全体として約400メートル延長しまして、さいたまスーパーアリーナ、ここを通りまして走り抜けるということになって、この部分が今回まさに目玉ということになっております。

また、それに加えまして、この線路沿いのフィニッシュのところまで600メートルの直線距離を確保しまして、競技性の向上と参加選手の安全面にも配慮したコース設定となっております。

また、沿道で観戦できない方のためにも、アリーナ南側の西口駅前通り

やせせらぎ通りにライブビューイングのモニターを設置いたします。

レース開催に当たりましては、午前8時30分から午後6時半まで周辺の交通規制が行われることになっております。

近隣住民、事業所の皆様、また交通事業者など、1日ご不便をおかけすることとなりますが、ご理解、ご協力をお願いしたいと思っております。

また、このさいたまクリテリウムと同日開催するイベントといたしまして、けやきひろばでは、さいたま自慢のグルメやフランス産食材を使った飲食物の販売などが行われます「さいたまるしえ」を開催いたします。

また、さいたま新都心駅東口の三菱マテリアルの敷地では、「はしる、とめる、まもる、たのしむ」の4つのテーマごとに自転車関連ブース、協賛企業ブースを展開するほか、自転車安全教室、ステージショーが行われるサイクルフェスタを開催いたします。

いずれも、サイクルファンもそうでない人も、あらゆる世代が一日中楽しめるイベントとなっておりますので、是非、ご来場いただきたいと思っております。

また、今年のパブリックビューイング会場は、浦和駅東口市民広場においては、埼玉中央青年会議所、埼玉商工会議所青年部、さいたま竜神まつり会のご協力で絆まつり会場で実施させていただきます。

また、大宮ソニックシティイベント広場では、大宮区民ふれあいフェアとあわせて開催させていただきます。

また、コクーン新都心のご協力によりまして、カタクラウディー広場及びコクーンプラザの2カ所におきましてパブリックビューイングを実施させていただきます。

また、鴻巣駅東口のこうのすシネマ様のご協力によりまして、多目的ホール大画面で鴻巣でもお楽しみをいただけることにもなっております。

次に、さいたま市内での交流についてですが、大会が行われます10月25日の前日、24日に来日選手との交流会を予定しております。

昨年は、埼玉栄高校での相撲体験などを行わせていただきまして、選手たちには大変好評でございまして、また海外メディアからも注目をされたわけでもありますけれども、今年は本市の代表的観光資源の一つであります大宮の氷川神社周辺を選手の皆さんに見学していただきます。

それから、埼玉県立与野高校書道部によります書道パフォーマンスを見ていただくとともに、選手の皆さんに書道体験をしていただき、また茶道の体験もしていただくことになっております。日本の文化を選手の皆さんにも堪能していただきたいと思っております。

そして、夕方5時半からはラフレさいたまにおきまして大会前日の記者会見を行わせていただく予定でございます。A. S. O. 代表、また代表選手数名が記者会見に参加をしていただく予定となっておりますので、こちらのほうにも是非、ご出席、また取材に来ていただければと思います。

また、その会見後には前夜祭ということで、出場選手、それから協賛社の皆様、また関係者の皆さんとの交流親睦を目的とした前夜祭を開催させていただきます。大会成功に向けて関係の皆様と結束を固めていきたいと考えております。

次に、オフィシャルグッズのアイテムについてでございます。去年は、Tシャツ、タオル、ストラップ、ピンバッジ、ボトルの5種類を販売させていただきまして、早々に売り切れになったという状況でございます。今回は、このオフィシャルグッズを多様なラインナップでご用意させていただいております。

また、大会当日、会場における販売コーナーを設けることはもとより、既にインターネットでも販売を開始させていただきました。今後、大宮そごう、コクーン新都心、浦和パルコのロフト様におきまして販売をしていく予定となっております。こちらについてもPRをしていただければと思っております。

説明は以上でございます。大会まで残すところあと3週間余りとなりました。事故等のないよう万全の体制で臨むことはもちろん、本市のシティセールス面での発信など、大会の成功に向けて全力で取り組んでまいりたいと考えております。

以上です。

## 議題に関する質問

### ○ 読売新聞

ありがとうございました。

それでは、幹事社から代表質問させていただきます。クリテリウムに関

連してなんですけれども、2点ございます。

1点がオフィシャルサポーターズの現状についてです。先日、記者会見等でプラチナサポーターですとか個人のオフィシャルサポーターズの状況が発表されましたけれども、なかなかその定員までにはまだ芳しくないという状況だと思います。現時点での現状を改めて教えていただくと、それから今後のそういった方面のセールス、あるいは席を完売するに向けてどのような方策をとっていかれるのかという点を教えてください。

それから、2点目ですが、警備体制の関係です。先日の会見でもお聞きしましたけれども、具体的に主催者としてどのような警備体制で、人数とか、それから場所等も含めてなんですけれども、なるべく具体的な警備体制と、それからゲリラ豪雨ですとか大地震とか、そういった想定外の大災害が起きたときの対応とか、そういった点について教えてください。よろしく願いいたします。

○ 市長      それでは、幹事社のご質問にお答えをしたいと思います。

オフィシャルサポーターズの応募状況でございますが、10月1日現在の数字でございますけれども、現在総額では2,111万円ということになっております。具体的に申し上げますと、法人サポーターが151口、それから個人プラチナサポーターが20口、個人Aサポーターが341口、個人Bサポーターが133口となっております。現在鋭意いろいろな方々にご案内をさせていただいているという状況でございますし、またあわせてインターネット上でも2次募集ということで努めているところがありますが、今随時増えてきているという状況がございますので、ぎりぎりのところまで努力をしてサポーターを多く勧誘していきたいと考えております。

それから、危機管理体制ということでもありますけれども、去年は季節外れの台風の影響にもかかわらず、予想をはるかに上回るたくさんの皆さんにお越しをいただいたと思っております。また、当日はメインアリーナでは別のイベントとしてコンサートも行われるということから、昨年以上の混雑が想定されるということで、今年は約400メートルのコースを延長するとともに、4車線道路の片側2車線を観覧エリアとして開放できるように、東西アンダーを除き、対面交通を避けるなど、コース設計にも配慮

をいたしました。コースに囲まれた規制内道路となるスーパーアリーナ南側の西口駅前通りや合同庁舎1号館、2号館の間のせせらぎ通りなど、ライブビューイングが楽しめる歩行者天国のような活用も予定するなど、雑踏事故防止の観点から、極力お客様を分散させるような配慮をした設定となっております。

また、主催者として、ご来場の多くのお客様の安全確保を第一に、現在埼玉県警察をはじめ消防、施設管理者、救急医療機関、鉄道事業者など関係機関、団体と連携を密にして危機管理を徹底していこうということで詰めさせていただいているところでございます。

新都心会場で安全対策に万全を期すことはもちろんでありますけれども、今お話がございました台風や震災など有事の際に市民の皆様の生命と財産を守ることが私自身の使命でもございますので、そういった際には災害対策本部の陣頭指揮をとることにもなりますので、状況によっては全市的な対応も視野にこの準備体制を整えていきたいと考えているところでございます。

以上です。

- **読売新聞**      今の点に関してなんですけれども、県警とか当日いろんな雑踏警備等で協力していただけることになるかと思うんですが、市として警備の方、そのときをお願いするかと思うんですけども、その人数とか規模については今のところ決まっているんでしょうか。
- **市 長**      今日、委員会に担当が出ておりますので、細かい人数等については後ほど数字等でお示しをしたいと思います。
- **事務局**      (会見後追加) 昨年は市職員やボランティアスタッフを含め、約700名規模で観客誘導や警備を実施しました。今年にしましては、昨年よりもコースが伸びたこともあり、昨年以上の人員で、制服警備員をはじめイベント会社の運営スタッフを中心とした体制で臨む予定であり、最終的な配置計画について関係機関と詰めの協議を進めています。
- **読売新聞**      ありがとうございます。幹事社からは以上です。  
各社さん、お願いします。
- **毎日新聞**      毎日新聞です。  
先ほどの質問に関連して伺いたいのですが、万が一地震ですとか竜巻と

か、そういった不測の事態が起こった場合にどういうふうに誘導していくとか、そういったマニュアルとか、そのときの職員の対処方法、クリテリウムにおける対処方法というのは何かご用意されていらっしゃるのでしょうか。

○ 市長 今回かなりの人数が来ることが想定されますので、そういったことについても万全を期して準備を進めていくように人数等を配置していきたいと考えておりますが、具体的にその辺についてはお答えできない状況でありますけれども、それらについても万全を期していこうということで、イベントについては、安全対策というのが私たちにとってまず第一のすべきことだろうと思っておりますので、そういったことにも対応していこうと考えております。

○ 事務局 (会見後追加) 危機管理マニュアルについては、大会開催中に避難が必要な事態が発生した場合等、観客等を安全に誘導できる体制の構築に向けて、関係機関と協議を進めています。

○日本経済新聞 日本経済新聞と申します。

スポンサーの件でお伺いします。今回ベルーナさんが冠スポンサーになられたということで、初めての試みですけれども、ベルーナさんが冠スポンサーになった経緯とさいたま市の狙いだったりメリット、どういうふうにお考えなのかということについてお聞かせください。

○ 市長 これまで私自身もいろいろな会合等でスポンサーであるとか、そういった呼びかけはお話をしてきたところでありますけれども、その中でベルーナさんも、本社自体はさいたま市ではありませんけれども、お隣の上尾市に本社を置かれて、埼玉県内の有力企業ということもあり、私たちが進めていくこうした自転車のまちづくりであるとか、そういったものに大変共感をしていただいて、そして冠スポンサーにご協力をいただけるということになってきたと、概略を言えばそういうことになるかと思えます。

○日本経済新聞 市長ご自身から要請をされたというような流れですか。

○ 市長 もちろんいろいろなアプローチ等もお互いにあったりしまして、その中でそういう方向になってきたということでもありますけれども、今回は大きな企業も地元の企業さんもいろいろな形で、1回目の実績がございましたので、1回目の時にはどんなイベントになるのかということで、私どもも、



またそれを受けてくださるスポンサーさんのほうもどういったことになるのかというのがわからない部分も多々ありましたけれども、今回については、1回目のいろいろな様子であるとか、あるいは状況ということも皆さんご理解していただいた上で対応していただいているということで、昨年以上に、募集についてはやりやすい環境にはあると思っております。

○ 朝日新聞

朝日新聞です。

今回2回目なんですけども、改めて大会を開催する意義について市長のお考えをお聞かせください。

○ 市 長

幾つか狙いといいますか、目的はあると思っております。1つは、さいたま市はスポーツを成長戦略の一つとして位置づけています。こうした全国的な、あるいは世界的な大会を誘致することによって、多くの皆さんがさいたま市に来てスポーツを見ていただく、あるいは体験していただくということで、地域の活性化、あるいは経済効果を上げていこうということでございます。

それから、このツール・ド・フランスさいたまクリテリウムについて言うと、自転車文化の醸成ということも目的の一つであります。

それから、現在さいたま市は、単にイベントをやるということだけではなくて、自転車のまちづくりを総合的に展開しようと位置づけて、このツール・ド・フランスさいたまクリテリウムを自転車のまちづくりのまさにシンボルとなるイベントにしていこうと考えております。その中で、自転車のまちづくりについては、はしる、まもる、とめる、そしてたのしむという、この4つの柱から現在、自転車のまちの大綱づくり、あるいは具体的な計画づくりに着手しているところでありますが、まさにこれから環境であるとか健康に非常に良い乗り物であります自転車を活用したまちづくりを展開していくためのまさにシンボリックなイベントにしていこうということも大きな狙いで、それを全国あるいは世界に発信していくということも大きな狙いの一つであると考えております。

○ 朝日新聞

1日の大会で市からの補助金が3億3,000万円とかなり巨額なんですけれども、その3億3,000万円を支出してもやる意義があるというお考えでしょうか。

○ 市 長

はい、そう考えております。ちょっと補足して答えると、昨年もそうい

う意味では、マイスのモデルで試算をしますと、約30億円を超える経済波及効果を上げることができましたし、世界104カ国にさいたま市の映像、あるいはさいたま市のことを発信していただくということにもなりましたし、それ以外の新聞、メディア等で取り上げられた広告効果としても2カ月で十数億ということが出ておりますけれども、そういった効果が上げられていると思っておりますので、そういう意味では十分価値があるものであると認識しております。

○ 埼玉新聞

埼玉新聞です。

スポンサーが、先日の会見で合計約1億7,000万円集まっているということだったと思います。その時点で目標はほぼ達成したということだったと思うんですが、今後もさらにスポンサーを獲得して、できた場合は市からの補助金の負担を減らしたいという意向だったと思うんですが、その後のスポンサーの獲得状況、最新の段階ではどうなっていますでしょうか。

○ 市長

現段階につきましては、手続中も含めまして四十数社から約1億8,000万円を超えるご協賛をいただける見込みとなっております。それに加えて先ほどのサポーターということになりますけれども、いずれにいたしましても今後も引き続きこうしたスポンサーあるいはサポーターの募集を行って、できるだけ多くの収入を上げ、またもう一方で支出についてはできるだけ削減をして、その中で市からの補助金をできるだけ少なくしていくということで進めていきたいと思っております。

○ 埼玉新聞

クリテリウムの機運醸成、機運の盛り上げについてお伺いしたいと思います。先日もバナーですとかのぼりのようなものをこれから掲出していくということでした。今の段階でどういうふうな日程で掲出していかというのを改めて教えていただけますか。

○ 市長

細かいことがありますので、担当のほうから。

○ 事務局

シティセールス部でございます。

今商店街のフラッグとかバナーの関係は既に今月から掲出はしてございます。そのほかにも、例えば新都心周辺の道路等、この辺についても、2週目になると思いますが、そのぐらいにかけて飾りつけをする予定で準備を進めているところでございます。

以上です。

○ 埼玉新聞

昨日私も会場周辺とか、あと会場に一番近い大宮駅の周辺を歩いて、どのぐらいそういったものがあるのかなと見て回ったんですが、会場周辺ですと、新都心の駅の中に1カ所ポスターがあった以外はまだないという状況で、大宮駅も駅の中、駅の周辺がなくて、あと大宮区役所のところにちょっとのぼりがあったというぐらいでした。昨年も機運醸成の部分で十分盛り上げ切れなかったというような課題があったということを市長ご自身もおっしゃっていたと思うんですが、そういう意味でちょっとその課題をまだ解決し切れていないのかなという印象を私は受けています。その点については、市長はどのようにお考えでしょうか。

○ 市長

現状として、10月の初め、あるいはそのちょっと前ぐらいから、ご案内のとおり商店街、あるいは浦和駅についてはもうかなり旗がなびいております。また、新都心、大宮駅周辺と、比較的目立つ商店街等をお願いして、貼って掲出していただいております。

それから、県を通じまして埼玉県内の自転車販売店等について旗を掲出していただいたり、ポスターを全県的に掲出していただいたり、あるいは今後またJRの東日本の主要駅等についてもポスターなどを掲示いただくということになってございます。

また、オフィシャルエアラインになりましたANAさんの国内便については、全て9月中には、さいたまクリテリウムの映像を流していただいたりということもございまして、あわせて機内紙にも掲出いただいております。

いずれにしましても、昨年よりは目につく機会が増えているのではないかと考えておりますが、今後さらに、まだ一部遅れているところ、掲出がまだされていないところもあるかと思っておりますけれども、それらについても早期をお願いをして、いずれにしても多くの皆さんに知っていただき、また足を運んでいただけるように、できるだけ努力をしていきたいと思っております。是非、皆様方にもいろいろな形で記事、あるいは取材等していただきまして、多くの皆さんに知っていただけるようにご協力をいただければありがたいと思っております。

今後、ジェイコムさん、ジェイスポーツさん等でも事前の番組をやって

いただくことになっておりますし、テレビ埼玉さんでも事前に特別番組等をやっていただくことになっております。また、FMナックファイブ等でも、ご案内の放送をしていただいておりますので、そういったことを総合的に私たちとしてはやりつつ、あともう一方で、先日も給食、これは保育園、それから小学校、中学校等で、フランス風の給食を出していただいたり、あるいは保育園ではポスターを作成していただいて、子供たちに描ってもらって、先般のK I T T Eという場所で行いましたのびのびシティフェアにおきましても描いていただいたポスターを旗に印刷をして掲出させていただいたりしまして、はっきり目に見えてくる形と、あと地道にこういったお知らせをしていこうという取り組みと、これを連動させながらやっていくことで効果が上がってくるのではないかと私たちとしては考えております。

広報については100点というのは恐らくなかなかないと思いますけれども、できるだけ多くの方々に知っていただけるように私たちとしても取り組んでいきたいと思っておりますし、そういう意味では昨年よりは大幅にいろいろな形の、広報のみならずプロモーション的なことについて行っているということがございますので、是非、皆さんにもそういったところなどにも取材をしていただいて、書いていただければありがたいと思います。

## 幹事社質問：市業務の民間委託について

### ○ 読売新聞

よろしいでしょうか。

そうしましたら、クリテリウム以外の幹事社質問をさせていただきます。

1点なんですけれども、市業務の民間委託についての質問です。

東京都の足立区が、1月から戸籍の窓口業務を民間に委託したということで話題になっています。人件費の削減等を狙いまして、委託の効果を足立区に問い合わせる自治体もあるというふうに聞いております。急速な高齢化や生活保護受給世帯の増加など、23区とさいたま市というのは共通点多いかと思うんですけども、個人情報に伴う分野の業務委託について、市で検討していることがあれば教えてください。また、あわせまして個人情報に伴わない分野で、さいたま市が民間委託を進めている分野や業種、

人件費等の削減効果などについて教えてください。よろしく申し上げます。

○ 市 長

それでは、幹事社のご質問にお答えをしたいと思います。

市業務の民間委託ということについてお答えしたいと思います。

まず初めに、個人情報に伴う分野としての区民課窓口業務についてでございますけれども、本市では職員という人的資源を有効活用すること、また区民課窓口の状況に応じた柔軟な人員配置も可能とし、区役所窓口における市民サービスの一層の向上を図ることを目的として、平成24年12月から区民課窓口業務の一部の委託化を開始をしているところであります。

委託業務の内容についてでありますけれども、総務省の通知によりますと、区民課窓口業務のうち請求や申し出に対する交付、不交付の決定や請求、届け出内容等に対する審査そのものなどは、職員が行う必要があるとされておりますが、これらの業務以外で、職員でなくても取り扱いが可能な部分を民間に委託しております。

具体的には、転入、転出等に係る各種手続を一括して行う窓口申請パッケージ工房の業務、住民票の写しなどの証明書等の交付申請の受け付け、お渡し業務、住民異動情報等の入力業務、郵送請求処理センター業務及び交付手数料の収入事務となっております。

なお、本市では、法的、また専門的な判断を伴う要素が多いことから、戸籍の届け出に関する業務については委託の対象とはなっておりません。

また、これに加えて職員でなければ取り扱うことができない業務もありますことから、今後につきましても区民課窓口について全面的に委託化することは難しいと考えております。

次に、どれほど民間委託を進めているのかということにつきましては、本市では、行財政改革推進プランに基づきまして、民間活力を活用し公民連携による事業を推進しております。

ご質問の民間委託の効果でございますが、民間に委託している業務は非常に多岐にわたってございます。かなり以前から委託をしているものもございますので、全体としての人数、あるいは人件費の削減効果についての算出は難しいといった現状もございますが、この行財政改革推進プランの平成25年度の実績、前年と比較しての実績ということでもありますけれども、

これについては地区図書館の窓口業務、それから小学校の給食調理業務、また一般廃棄物収集運搬業務の委託化などに取り組むことで、人員数で62名、財政的効果として約2億7,000万円の効果額が創出をされたところでございます。

- 読売新聞      ありがとうございました。

### 幹事社質問に関する質問

- 読売新聞      幹事社の読売新聞です。  
今の質問に関連してなんですが、来年度以降、新たな分野で民間委託を進めていく構想ですとか、予定など、もしありましたら教えてください。
- 市 長      来年度以降につきましては、平成25年12月に策定しました行財政改革推進プラン2013では、新たに下水処理センターの維持管理業務においての包括業務委託の検討を行っていくということになっております。  
また、市報さいたまの編集業務の委託化、あるいは出納室で行っている支出命令書等審査業務の段階的な委託化を推進することとしております。
- 読売新聞      済みません、関連してなんですが、それによって人件費の削減効果などはもう出ているものでしょうかね、まだそういった試算は、もしされていれば。
- 市 長      今後については担当のほうから。
- 事務局      行財政改革推進部でございます。よろしく願いいたします。  
今の段階では市長が申上げた部分、委託化による効果ということですが、業務委託の範囲がある程度はつきりしているものについては効果額を算出しております。  
下水処理センターは、包括的な外部委託の検討ということで、まだどこまでの範囲を委託するのかという、検討段階ですので、効果額は算出していない状態でございます。
- 読売新聞      市報さいたまの編集と、あともう一個は何でしたっけ、済みません。
- 事務局      出納業務の委託化を考えております。
- 読売新聞      ありがとうございます。
- 市 長      ほかにいかがでしょうか。
- 読売新聞      そうしましたら、ほかに何か質問ある方、各社さんよろしく願いしま

す。

## その他質問：安倍内閣の地方創生の取り組みについて

### ○ 時事通信

時事通信と申します。

地方創生の関係で1点伺わせてください。先日石破担当大臣が、来年を目途に、中央省庁の若手の職員の方を地方に派遣するというような考えを示されたり、またほかの方だったと思うんですが、四国でテレワークのような取り組みをですね、中央省庁の官僚の方を向こうに派遣してやるというようなお話がありました。主にこういう地方創生というのは、東京から離れた地方のことを主眼に置いているかと思うんですが、大都市部の首長としてですね、こういう安倍内閣の地方創生の取り組みについてですね、何か注文とか意見みたいなものがございますでしょうか。

### ○ 市長

基本的には地方の資源を活用していただく取り組みをやりやすい仕組みをつくっていただくということが大変重要だと思っております。もちろん地方によっては人材不足、人材が十分でないということで、国からの応援ということも当然必要になろうかと思えますけれども、私たちとしてはやはり地方が決め、考えていることを、しやすくしていただく仕組み、あるいは応援していただく仕組みというものが、より重要ではないかと思っております。

### ○ 時事通信

済みません、もうちょっと。例えば余りにも東京から離れた地方が重視されるということで、都市部の首長として、逆差別という言い方が適切かどうかわからないんですけれども、ちょっとこちらのほうも向いてほしいとか、例えばそういうようなお考えとかというのはないんですか。

### ○ 市長

基本的には私たちとしても、それは一部の地方都市のためだけにやる施策であるとは捉えておりません。広く各自治体の力、あるいは資源というものを最大限に活かして、地方がそれぞれ都市部であっても、それは多くのいろいろな地方とまた違った課題を抱えている部分もございますので、そういったことも含めて地方創生をしていただけるものであると今期待もしておりますし、そういうものであると認識しておりますので、私たちとしてももちろん、いろいろな形で地方創生に積極的に取り組んでいくということはやっていきたいと思っております。

## その他質問：生活保護世帯への学習支援について

- 毎日新聞 毎日新聞です。  
生活保護受給家庭の困窮家庭のお子さんに対する学習支援のことでお伺いしたいんですが、来年から法律が変わるということで国庫補助がなくなり、2分の1は市の負担になるかと思うんですが、そういった財政的負担を踏まえて来年度、市は教室の数をどのようにされる方針かというのを教えてください。
- 市長 今後、予算編成をしてみたいと思いますので、具体的にはまだ十分精査をしておりませんが、基本的にこれまでやってきた生活保護家庭の子供たちへの学習支援は大変効果が高い、あるいは重要な事業であるという認識をしておりますので、その中で来年度予算編成をしていきたいと考えております。
- 毎日新聞 事業そのものを廃止する考えはないけれども、その規模については予算額に応じてこれから考えるというようなことでよろしいでしょうか。
- 市長 どういうふうにするかというか、その辺については今後予算編成をしていく中で総合的に考えていきたいと。ただ、大変効果が高い重要な事業であるという認識をしておりますので、そういったことの中で判断をしていきたいと思っております。国の補助金がなくなったから、イコールなくなるという考え方は持っていないということです。
- 読売新聞 質問よろしいでしょうか。

## その他質問：特定秘密保護法について

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。  
特定秘密保護法の施行日を12月10日からとするということを政府がですね、昨日自民党のプロジェクトチームに伝えたということで、10日から施行されることになると思います。市の業務で、特定秘密を扱っている部署、または扱う可能性がある部署の洗い出し等を行っているのでしょうか、もし行っているのであれば、どのような部署がそういうものに該当するということで今捉えているのでしょうか。
- 市長 まだ作業は行われていないのではないかと思います、いずれにしろその12月10日ということになるようであれば、当然そういったことをし



っかりと洗い出しをして対応していくということになりますが、現時点では詳細については担当がおりませんので、その部分については十分なお答えができません。

- 埼玉新聞      そうしますと、例えばその法律に抵触しないためのガイドラインをつくったりとか、マニュアルをつくったりとか、そういうのもまだされていないということよろしいでしょうか。
- 市 長          それも後ほど正確なことは担当からお伝えをしたいと思います。
- 埼玉新聞      あと、済みません、もう一点なんですけども、この法律が施行されて法律の効力が発生する12月10日以降なんですけど、市の業務に何か影響があるものが出てくると考えていらっしゃいますか、もしあると考えていらっしゃるようであれば、どういう部分が影響あると考えていらっしゃいますでしょうか。
- 市 長          それも後ほどお答えをさせていただきたいと思います。
- 埼玉新聞      いずれにしても、そういうところを含めてこれから作業は行っていくということよろしいですか。
- 市 長          はい。
- 埼玉新聞      わかりました。
- 事務局      (会見後追加) この法律の対象となる行政機関に、市は該当しておらず、直接特定秘密を取り扱うことはありません。しかし、国等から特定秘密の提供がある場合も考えられますので、提供された特定秘密の内容に応じた対応を検討してまいります。
- 読売新聞      ほかによろしいでしょうか。  
そうしましたら記者からの質問終了させていただきます。ありがとうございました。
- 進 行          以上をもちまして、市長定例記者会見を終了させていただきます。  
次回の開催は、10月23日木曜日、1時半からを予定しておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

午後2時15分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については( )とし、下線を付しています。